

11月 たかた

コミュニティ・スクール高田
校長 吉丸 みさ子
平成29年 11月13日

子どもたちにとって成長の一つの節目 二分の一成人式！

美しい紅葉の便りがあちらこちらから届くようになりました。九州も紅葉の季節です。澄み渡る空の青、太陽にきらめく銀杏の黄金、みどりの中に一際輝くもみじやはぜの紅、本当に美しい季節です。

さて、去る11月6日の学校開放日には、たくさんの保護者や地域の皆様に高田小学校に来ていただきました。『二分の一成人式』『学習参観』『友だちいっぱい集会』、そして、高田校区社会福祉協議会主催の『講演会』と『ふれあい給食』、PTAの『空き缶・ベルマーク整理』…と、本当に盛りだくさんの一日でした。

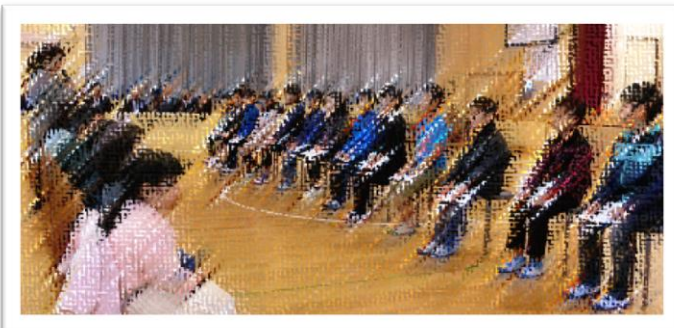
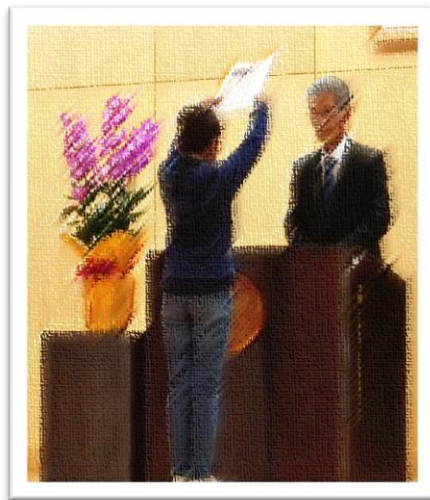
『二分の一成人式』では、13名の子どもたちが学校運営協議会会長の青山伸介様から二分の一成人証書をいただき、一人一人が自分の夢と家族への感謝の言葉を述べました。個性豊かな4年生。今の自分を見つめ直し、夢の実現に向けてこれからの自分について考え、改善すべき事や頑張らなければならないことを自分なりにまとめて発表しました。

高田小学校の『二分の一成人式』は卒業式と同じように全員参加です。1年生や2年生は、いつもいっしょに遊んでくれる4年生がどんな夢を持っているのか、興味津々で発表を聞きます。

3年生は来年の自分たちの姿を思い描き、きらきらとした眼差しで4年生の発表を聞きます。5年生や6年生は自分の二分の一成人式の事を思い出し、優しい眼差しで4年生を見つめます。保護者や地域の方々も温かい眼差しを注いでくださいます。たくさんの人の前で自分の思いを伝えることは、本当にドキドキするものです。しかし、たくさんの人の愛情に支えられて今の自分があるのだということを実感できる高田小学校の『二分の一成人式』、ドキドキを乗り越えてまた一歩成長するための価値ある式であると思います。ご参列くださいました皆様、心からお礼申し上げます。

13人の子どもたちが、夢の実現を目指して一歩ずつ確かに進んでくれることを願って止みません。

(4月に入学した1年生。60分間きちんと椅子に座って式に参加することができました。日々の学習はもちろんですが、高田小学校ならではの行事への参加が、子どもたちの成長を支えているのだと思います。)



心がほっこり！友だちいっぱい集会

高田小学校では、互いを尊重し合う「たすけあう子」を育てるために、継続して「いいとこみつけ」に取り組んでいます。毎週木曜日の全校帰りの会でも、他学年のよい行いを見つけ発表しようと、挙手も増えてきました。日常の取り組みに加え、自分たちの言動を振り返る機会として『友だちいっぱい集会』を設定しています。今年の『友だちいっぱい集会』も心がほっこりする会になりました。



五年生 高田つ子太鼓
八人が心を合わせて演奏しました。飽きも堂に入ってきました。



一年生 劇
大きながぶをアレンジして、友だちの良いところを発表しました。



一年生 いいとこみつけ
友だちのいいところを発表しました。心を合わせて台詞もしました。



三四年生 劇
ゆかいなホキンをベースに、みんな仲良くしようと呼びかけました。



六年生 劇
もも太郎をもとに力を合わせるごとの大切さを伝えました。



全校群像



「ふれあい給食」

今年は42名の参加がありました。いつもと違って、少し緊張気味の子もいれば、人なつこく話しかける子もいましたが、始終和やかな雰囲気でご飯をいただくことができました。

ありがとうございました。

去る11月2日、稲刈りを行いました。田植えから稲刈り・脱穀まで、深町義則さんのご厚意で、今年も子どもたちは貴重な体験をすることができました。

心より感謝申し上げます。

今年は、昨年ぜんそくで参加できなかった児童も、ご家族の熱心な働きかけと担当医のご協力で、稲刈りに参加することができました。

深町さんはもとより、ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。